

取扱説明書

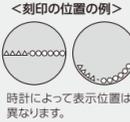
このたびは、弊社製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いいただけますようお願い申し上げます。

なお、この取扱説明書は大切に保管し、必要に応じてご覧ください。

機種番号の見かた

時計の裏ぶたに、アルファベットを含む4ケタと6ケタ以上からなる番号が刻印されています。この番号を「側番号」といいます。側番号の先頭の4ケタが機種番号になります。図では「△△△△」が機種番号です。



安全上のご注意 (必ずお読みください)

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

- 危険** この表示の欄は、「死亡または重傷を負う可能性が高い」内容です。
 - 警告** この表示の欄は、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
 - 注意** この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。
- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
- このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
 - このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

ご使用になる前に

保護シールについて

時計のガラス部分や金属部分（裏ぶた、バンド、中留め）にシールが貼られているときは、ご使用前に必ずはがしてください。シールのすき間に汗や水分が入り込むと、皮膚のかぶれや金属の腐食の原因となる場合があります。

バンド調整について

お客様ご自身で時計のバンド（金属やゴム）の長さを調整しないでください。時計が落下したり、調整時にケガをする怖れがあります。（製品にバンド調整用の道具が付属している場合は除く）バンドの調整は、お買い上げ店または、弊社お問い合わせ窓口にて承っております。その他のお店では有料もしくは取り扱っていない場合があります。

特殊な構造のりゅうずやボタンの使いかた

モデルによっては、誤操作を防ぐため、次のような構造のりゅうずやボタンの場合があります。

ねじロックりゅうず・ねじロックボタン

時計を操作するときは、ロックを解除してください。

	ロックを解除する	再びロックする
ねじロックりゅうず	りゅうずが飛び出すまで、左に回す	りゅうずを押し込みながら右に回し、しっかりと締める
ねじロックボタン	ねじを左に回し、止まるまでゆるめる	ねじを右に回し、しっかりと締める

隠しボタン



ボタンを押すときは、先の細いものなどで押してください。

保証とアフターサービス

<保証について>

正常なご使用で、保証期間内に万一故障が生じた場合には、保証書に従い、無料修理いたします。

<修理用品の保有期間について>

当社は時計の機能を維持するための修理用品を、通常7年間を基準に保有しております。ただし、ケース・ガラス・文字板・針・りゅうず・プッシュボタン・バンドなどの外装部品には、外観の異なる代替部品を使用させていただく場合がありますので、予めご了承ください。

<修理可能期間について>

当社の修理用品の保有期間中は修理が可能です。ただし、ご使用の状態・環境でこの期間は著しく異なります。修理の可否については、現品ご持参の上販売店でご相談ください。なお、長期間のご使用による精度の劣化は、修理によっても初期精度の復元が困難な場合があります。

<ご購入・ご購入品の場合>

保証期間中にご転居されたり、ご購入品のためにご使用の時計がお買い上げ時のアフターサービスを受けられない場合には、弊社お問い合わせ窓口へご相談ください。

<定期点検 (有償) について>

安全に長くご使用いただくために、2〜3年に一度、点検 (有償) を行なってください。防水時計の防水性能は経年劣化しますので、防水性能を維持するために、部品の交換が必要です。必要に応じてメンテナンスなどの交換を行なってください。部品交換の際は、純正部品とご指定ください。交換だけでなく他の部品の点検または修理を行なう必要がある場合もありますので交換修理料金など、詳しくはお買い上げ店または弊社お問い合わせ窓口へご相談ください。

<電池について>

お買い上げの時計に使用されている電池は機能・性能を確認するためのモニター用電池です。お買い上げ後、所定の電池寿命に満たないうちに寿命が切れてしまうことがありますのでご了承ください。●電池寿命が切れた場合は、保証期間であっても電池交換は有料となります。

<その他お問い合わせについて>

保証や修理、その他不明な点がございましたら、お買い上げ店または弊社お問い合わせ窓口へご相談ください。

仕様

機種:	C201
型式:	コンビネーション (アナログ+デジタル) 水素時計
時間精度:	平均月差 ± 30秒 (常温+5℃〜+35℃での携帯時)
動作温度:	-10℃〜+60℃
水晶振動数:	32,768Hz
表示機能:	[アナログ] 時、分、秒 [デジタル] 時刻: 時、分、秒 カレンダー: 月、日、曜日 アラーム: 時、分 クロノグラフ: 60分計 (1/100秒単位) スプリットタイム計測
付加機能:	アラーム機能/クロノグラフ機能/ランプ機能/時報機能
電池寿命:	約2年
電池番号:	280 - 44 (SR927W) 1個

※上記の製品仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。

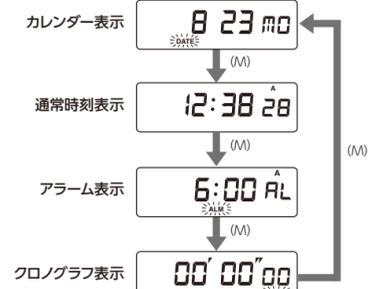
各部の名称



※お買い上げいただいた時計と取扱説明書のイラストは異なる場合があります。

デジタル表示の切り替え

(M) ボタンを押すたびにデジタル表示が切り替わります。



ライトの点灯について

通常時刻表示またはカレンダー表示のとき (A) ボタンを押している間、ライトが点灯します。

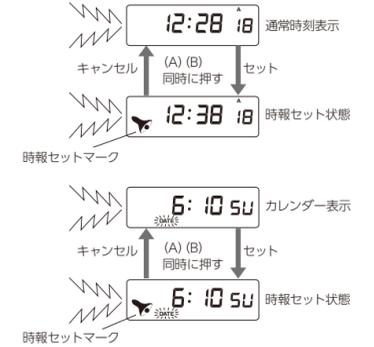


時報のセット

時報をセットすると、時報セットマークがデジタル表示され、毎正時に時報が鳴ります。

・通常時刻表示またはカレンダー表示状態で (A) (B) ボタンを同時に押すと、時報がセット/キャンセルされます。

*「ピッ」という確認音が鳴り、時報がセット/キャンセルされたことをお知らせします。



時報セットのとき マーク表示
時報キャンセルのとき マーク表示なし

確認音

サウンドモニター

通常時刻表示またはカレンダー表示のとき、(A) (B) ボタンを同時に押し続けると、アラーム音 (ピッ、ピッ、ピッ...) が確認できます。



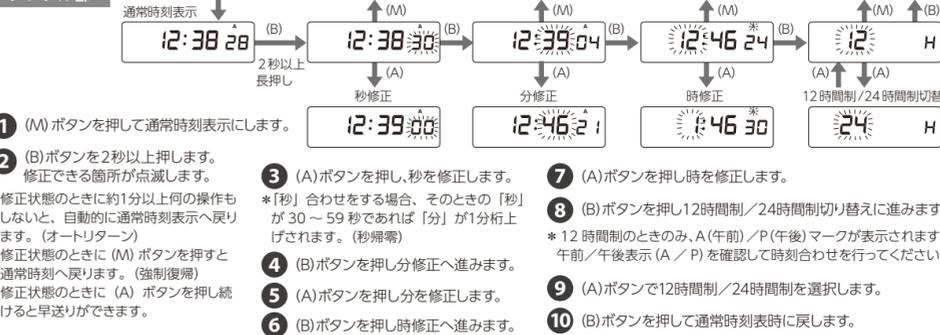
時刻の合わせかた

アナログ部



- 秒針が0秒位置で停止するようにりゅうずを1段引き位置 **1** にします。
- りゅうずをまわして、時・分針を時刻に合わせてます。
- 時報などに合わせてりゅうずを押し込むと、秒針がスタートします。

デジタル部



カレンダーの合わせかた

- (M) ボタンを押してカレンダー表示にします。
- (B) ボタンを2秒以上押します。修正できる箇所が点滅します。
*修正状態のときに (A) ボタンを押し続けると早送りができます。
*修正状態のときに約1分以上何の操作もしないと、自動的に通常カレンダー表示へ戻ります。(オートリターン)
*修正状態のときに (M) ボタンを押すと、カレンダー通常表示へ戻ります。(強制復帰)
- (A) ボタンを押して日を修正します。
- (B) ボタンを押して月修正へ進みます。
- (A) ボタンを押して曜日を修正します。
- (B) ボタンを押して曜日修正へ進みます。
- (B) ボタンを押して通常カレンダー表示に戻します。

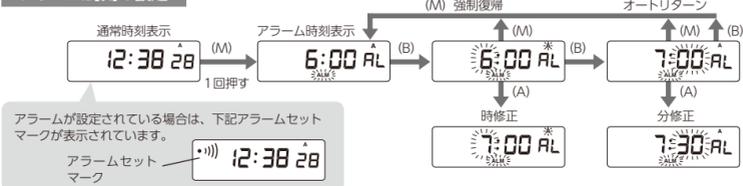
クロノグラフの使いかた

- (M) ボタンを押してクロノグラフ表示にします。
- (A) ボタンを押して計測スタート/ストップします。
- (B) ボタンを押すとスプリットタイム表示になります。
- (A) ボタンを押して計測スタート/ストップします。
- (B) ボタンを押すとクロノグラフリセット状態になります。

*このクロノグラフは、1/100秒単位の計測で、最大59分59秒99までを計測表示します。
*クロノグラフ計測中であっても (M) ボタンを押すごとに、カレンダー表示→通常時刻表示→アラーム表示へと切り替えができます。
この間クロノグラフの計測は続いています。アラーム表示後も一度 (M) ボタンを押すと、クロノグラフ計測中の表示に戻ります。
*ただし、スプリットタイムを表示しているときは、(M) ボタンを押すごとにそれぞれのモードを表示した後、クロノグラフ計測中の表示に戻り、スプリットタイムストップを表示しているときは、計測ストップの表示に戻ります。

アラームの使いかた

アラーム時刻の設定



- 通常時刻表示のとき (M) ボタンを1回押してアラーム表示にします。
 - (B) ボタンを押してアラーム時設定へ進みます。
 - (A) ボタンを押して時を設定します。
 - (B) ボタンを押してアラーム分設定へ進みます。
 - (A) ボタンを押して分を設定します。
 - (B) ボタンを押して通常時刻表示に戻します。
- *アラーム時刻は、通常時刻表示の12時間制/24時間制に連動しています。通常時刻表示が12時間制のとき、アラーム表示においても12時間制となり、A/Pマークが表示されます。
*修正状態のときに約1分以上何の操作もしないと、自動的にアラーム時刻表示へ戻ります。(オートリターン)
*修正状態のときに (M) ボタンを押すと、アラーム時刻表示へ戻ります。(強制復帰)
*修正中に (A) ボタンを押し続けると、早送りができます。

アラームのON/OFF切り替え

アラーム表示状態において (A) ボタンを押すごとに ON/OFFが交互に切り替わります。

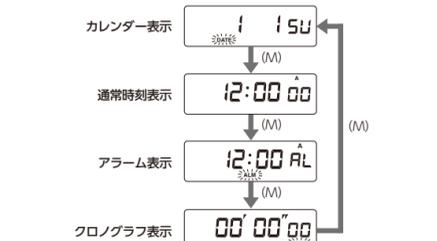


*アラームはセットされた時刻になると20秒間鳴り続けます。
*アラーム音を途中で止めたいときは、(M)、(A)、(B) のいずれかのボタンを押します。

オールリセット

時計が異常な動作や表示をした場合や、電池交換後はオールリセットを行ってください。

- (M)、(A)、(B) ボタンを同時に押します。
*デジタル表示部がどの表示のときでも、この操作でオールリセットされます。
*デジタル表示部の全表示が点灯します。
- (M)、(A)、(B) ボタンを離します。
*通常時刻表示に戻り、確認音が鳴ります。オールリセット完了です。
*オールリセットされると、デジタル表示部は下記のような初期設定値になります。(M) ボタンを押すたびに、デジタル表示が切り替わります。
*時報は初期設定ではOFFになります。



- 時刻やカレンダーを正しく設定し直してください。

お取り扱いにあたって

警告 電池の取り扱いについて

- 幼児の手が届かないところに置いてください。
- 誤って電池を飲み込んだ場合にはたちちに医師と相談して治療を受けてください。
- 一般のゴミと一緒に捨てないでください。発火、環境破壊の原因となりますので、お住まいの自治体の指示に従ってください。

注意 電池交換について

- 電池寿命切れの電池をそのままにしておくと、漏液等により故障の原因となることがあります。早めに電池交換してください。
- 電池交換の際は必ず指定電池をご使用ください。

警告 防水性能について

- 時計の文字板および裏ぶたの防水性能表示をご確認の上、下図を参照して正しくご使用ください。(1barは約1気圧に相当します)
- WATER RESIST (ANT) xx bar はW.R. xx bar と表示している場合があります。
- 非防水時計は、水中や水に触れる環境での使用はできません。
- 日常生活用防水時計 (3気圧防水) は、洗濯などには使用できませんが、水中での使用はできません。

- 日常生活用強化防水時計 (5気圧防水) は、水泳などには使用できますが、素潜り (スキンドイビング) やスキューバ潜水には使用できません。
- 日常生活用強化防水時計 (10/20気圧防水) は、素潜りには使用できますが、スキューバ潜水・ヘリウムガスを使う飽和潜水には使用できません。

名称	文字板または裏ぶた	仕様	使用例				
			水がかかる程度の使用 (洗滌、雨など)	水仕事や、一般水泳に使用。	スキンドイビング、マリンスポーツに使用。	空気ボンベを使用するスキューバ潜水に使用。	水滴がついた状態でのりゅうずやボタンの操作。
非防水時計	—	非防水	×	×	×	×	×
日常生活用防水時計	WATER RESIST (ANT) 3気圧防水	3気圧防水	○	×	×	×	×
日常生活用強化防水時計	WATER RESIST (ANT) 5 bar	5気圧防水	○	○	×	×	×
日常生活用強化防水時計	WATER RESIST (ANT) 10/20 bar	10気圧防水 20気圧防水	○	○	○	×	×

注意 人への危害を防ぐために

- 幼児を抱くときなどは、幼児のけがや事故防止のため、あらかじめ時計を外すなど十分ご注意ください。
- 激しい運動や作業などを行うときは、ご自身や第三者へのけがや事故防止のため、十分ご注意ください。
- サウナなど計測が高温になる場所では、やけどの恐れがあるため絶対に使用しないでください。
- バンドの中留め構造によっては、着脱の際に爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。
- 時計をしたまま就寝しないでください。思わぬけがやかぶれを引き起こす恐れがあります。

注意 使用上の注意

- りゅうずは常に押し込んだ状態 (通常位置) でご使用ください。りゅうずがねじ締めタイプであれば、しっかりと固定されているか確認してください。
- 水分のついたままりゅうず操作をしないでください。時計内部に水分が入り防水不良となる場合があります。
- 万一、時計内部に水が入った。またガラスの面にクモリが発生し、長時間消えないときは、そのまま放置せず、お買い上げ店または、弊社お問い合わせ窓口へ修理、点検を依頼してください。
- 時計の防水性能が高い場合でも、次のことにご注意ください。
・海水に浸したときは、真水で洗い乾いた布でよくふくると。
・水道水を蛇口から直接時計にかけない。
・入浴するときは時計をはずす。
- 時計内部に海水が入った場合は、箱やビニールに入れてすぐに修理依頼をしてください。時計内部の圧力が高まり、部品 (ガラス、りゅうずなど) が外れる危険があります。

注意 携帯時の注意

時計のお手入れ方法

- ケース・ガラスの汚れや汗などの水分は、柔らかい布で拭き取ってください。
- 金属バンド・プラスチックバンド (ゴムバンド) は、汗や汚れに劣化します。定期的な交換を行ってください。
- 皮革バンドの時計は防水時計であっても、水を使うときは時計を外すことをおすすめします。
- バンドは多少余裕を持たせ、通気性を良くしてご使用ください。
- ウレタンバンドは、衣類等の染料や汚れが付着し、除去できなくなることがあります。色落ちするもの (衣類、バッグ等) と一緒に使用する場合はご注意ください。また、溶剤や空気中の湿気などにより劣化する性質があります。弾力性がなくなり、ひび割れを生じたらお取り替えください。
- 以下の場合は、速やかにバンドの調整・修理をご依頼ください。
・腐食などにより、バンドに異常が認められたとき
・バンドのピンが飛び出しているとき

(温度について)
・極端な高温/低温の環境下では、時計が停止したり、機能が低下する場合があります。製品仕様での動作温度範囲外でのご使用はおやめください。

(静電気について)
・クォーツ時計に使われているICは、静電気に弱い性質を持っています。強い静電気を受けると正しい時刻を表示しない場合がありますので、ご注意ください。

(磁気について)
・アナログ式クォーツ時計は、磁石を利用した「ステッピングモーター」で動いており、外部から強い磁気を受けるとモーターの動きがみだされて、正しい時刻を表示しなくなる場合があります。磁気の強い健康器具 (磁気ネックレス・磁気健康腹巻など) ・冷蔵庫のマグネットドア、バッグの留め具、携帯電話のスピーカ一部、電磁調理器などに近づけないでください。

(ショックについて)
・床面に落とすなどの激しいショックは与えないでください。外装・バンドなどの損傷だけでなく機能、性能に異常を生じる場合があります。

(化学薬品・ガス・水銀について)
・化学薬品・ガスの中での使用はお避けください。シンナー・ベンジン等の各種溶剤及びそれらを含有するもの (ガソリン・マニキュア・クレンジング・トイレ用洗剤・接着剤・撥水剤など) が時計に付着しますと、変色・溶解・ひび割れ等を起こす場合があります。薬品類には十分注意していただき、また、体温計などに使用されている水銀に触れたりしますと、ケース・バンド等が変色することがありますのでご注意ください。

注意 時計は常に清潔に

- りゅうずやプッシュボタンを長期間動かさないままにしていると、付着しているゴミや汚れが固まり、操作できなくなる場合がありますので、ときどきりゅうずを空回りさせたり、プッシュボタンを押してください。また、ゴミ、汚れを落としてください。
- ケースやバンドは、肌着類と同様に直接肌に接しています。金属の腐食や汗、汚れ、ほりごみなどの気づかない汚れで衣類の袖口などを汚す場合があります。常に清潔にしてご使用ください。
- ケースやバンドは直接肌に接しています。ケースやバンドに発生したサビ、汚れ、付着した汗、または金属、皮革アレルギーなどにより皮膚にかゆみ・かぶれを生じる場合があります。異常を感じたら、すぐに使用を中止して医師に相談してください。汗や汚れが付着した場合は、金属材質のバンドやケースははけなどを使い中性洗剤で汚れを除去してください。皮革材質のバンドやウレタンバンド (ゴムバンド) は乾いた布などで拭き、汚れを除去してください。
- 皮革バンドは汗や汚れにより「色落ち」を起こすことがあります。乾いた布で拭くなどして常に清潔にご使用ください。

夜光付き時計の場合は

時計の文字板や針には、放射性物質などの有害物質を一切含まない、人体や環境に安全な夜光物質を使用した蓄光塗料が使用されています。この塗料は太陽光や室内照明 (白熱灯を除く) などの光を蓄え、暗い所で発光します。

蓄えた光を放出させるため、時間の経過とともに少しずつ明るさ (輝度) は落ちていきます。
・クォーツ時計に使われているICは、静電気に弱い性質を持っています。強い静電気を受けると正しい時刻を表示しない場合がありますので、ご注意ください。

(静電気について)
・クォーツ時計に使われているICは、静電気に弱い性質を持っています。強い静電気を受けると正しい時刻を表示しない場合がありますので、ご注意ください。

(磁気について)
・アナログ式クォーツ時計は、磁石を利用した「ステッピングモーター」で動いており、外部から強い磁気を受けるとモーターの動きがみだされて、正しい時刻を表示しなくなる場合があります。磁気の強い健康器具 (磁気ネックレス・磁気健康腹巻など) ・冷蔵庫のマグネットドア、バッグの留め具、携帯電話のスピーカ一部、電磁調理器などに近づけないでください。